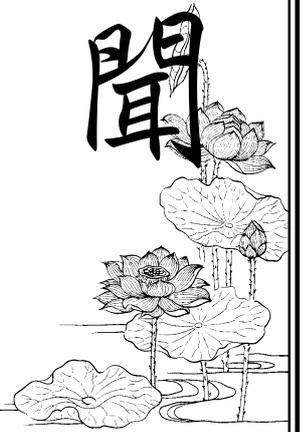


# いして新聞



第470号

令和5年9月発行

## ご挨拶

皆さま、秋の訪れを心から感じる頃となりました。僧侶、藤井俊良です。まず初めに、暑さの中、お盆の合同法要や大施餓鬼へのご参加、ご協力、誠にありがとうございました。私たちもその熱いご縁と共に、様々な法要を心を込めて執り行わせていただきました。

秋と言えば、収穫の季節。自然界がその豊かさを示すこの時期、石手寺でも「頼もう祭」や「福德灌頂」、そして子供たちの成長を祝う「七五三」など、多くの行事を予定しています。これらの行事も皆さまと共に、心温まるものしたいと思います。

また、一年の終わりに向け、年末の「すはらい」などの行事もあります。この機会に、新しい年を迎える前の清々しさを共に感じましょう。

皆さまの日々が実り多く、健やかでありますよう心よりお祈り申し上げます。そして、これからの季節も石手寺と共に、心豊かな時を過ごしていただければ幸いです。

## コロナ感染予防を

実は、二週間ほど前から新型コロナウイルスに感染してしまいました。近日の猛暑の影響で、マスクをする人の割合も目に見えて減少。テレビやラジオのニュースでは、かつてのようなコロナの大きなトピックが少なく、少し気を抜いてしまっていたのかもしれない。

現在、我々が直面しているのは「第九波」とも言われる新たな流行です。私自身、発症から二週間が経ち、熱症状は幸いなく、しかし、後遺症として味覚・嗅覚の喪失、頭の中に霧がかかったような感じが続いている状態です。

他にも、関節痛を訴える方もいるとの情報が入っています。これはずっと続くのかと思うと、ゾッとします。しかしながら、多くの方々から時間の経過とともにこれらの症状が軽減していったとの声も聞こえてきており、少し安心していきます。

皆さま、コロナウイルスはまだまだ終息していません。私の経験を通して、改めてそのリスクを感じ取っていただけたらと思います。専門家も、特に高齢者や基礎疾患を持つ方々への警戒を強く呼び掛けています。

一人一人が予防策をし、安全を確保していくための協力をお願い申し上げます。

熊野山 石手寺

〒790-0852

愛媛県松山市石手2丁目9-21番地

電話：089-977-0870

メール：ishiteji@nehan.net

WEB：www.nehan.net



## 無財の七施のススメ

石手寺の境内は、多くの方々日々訪れ、様々な祈りや学びを求めて歩まれています。そんな中、私たちが今一度考えたいのは、「施し」について。とはいえ、今回ご紹介するのは金銭的なものではなく、「無財の七施」という精神的な施しです。

一・目の施し…真摯に相手を見ることで、相手の心を温かくする。笑顔や優しい視線は、人々の心をつなぐ最初のステップです。

二・笑顔の施し…笑顔はコミュニケーションの基本。誰もが笑顔を見ると温かい気持ちになります。心からの笑顔を与え、相手の心を癒してみませんか？

三・言葉の施し…優しい言葉、励ましの言葉、感謝の言葉。言葉には無限の力があります。正しいタイミングでの一言が、相手の心に深く響き渡ります。

四・体の施し…助けの求めに応じて手を差し伸べる、肩をたたく、抱きしめる。身体を使っただけの助けや慰めは、深い絆を生み出しません。

五・心の施し…相手を思う心、相手の立場に立って物事を考えること。相手の喜びや悲しみを共有することで、心からの絆が生まれます。

六・席を譲る施し…席を譲るという物理的な席だけでなく、話の中心になる機会や役割を譲ることも大切です。相手のために場を作ること、相手の存在を尊重します。

七・安全の施し…相手を守る、心や体の安全を確保すること。雨や風をしのぐ所を与えたり、身近な人から、まだ知らない人まで、誰もが安心して生活できるようにすることです。

石手寺では、この「無財の七施」を日常生活の中で実践することをすすめます。私たちの生活の中で、これらの「施し」を意識して行動することで、より深い人間関係やコミュニケーションが築かれます。金銭的な財ではない、心の財を共有することで、私たちの生活は豊かになることでしょう。



## 胎内記憶と親子の絆

先日、私は0歳、一歳、五歳の三人の子供の親として、産婦人科医のドキュメンタリー映画「かみさまとのやくそく」を見る機会がありました。この映画は、胎内記憶、つまり「母のお腹の中の記憶」がテーマです。

映画内では、多くの三歳までの子供たちは、この胎内記憶を持っていることが明らかにされました。更に驚きだったのは、生まれる前の記憶も持つ子どもたちが存在し、その記憶のイメージが驚くほど共通している点でした。目の前には、大仏さまのような存在がいて、複数の女性を映し出したテレビ画面のようなものがあります。そして、子どもたちが母親を選び、この世に生まれてきたということです。このような高次元の存在は、科学的にも物理学・量子力学の観点からも証明されつつあるそうですね。

特に心に残ったのは、子どもたちが「人の役に立つため、特に母親のために生まれてきた」という純粋な言葉でした。このことから、親として子供の幸せを考えると、「まず私たち親が幸せである」ことの重要性を感じました。

親が子供の為と考え、良かれと思つた行動でも、自らを犠牲にしているとネガティブに考えてしまうことは、意外にも子供たちを不幸にしてしまうかもしれません。「僕は親を幸せにするために生まれてきたのに」と子供たちは怒りを感じることもあるかもしれませんね。

幼い子供がいる親は、幸せそうにしていることが彼らの幸福、ひいては家族の幸福へと繋がるのではと感じました。

## 行事のご案内

### ○七五三ご祈願



息子と七五三参り

秋の季節、子どもたちの成長を祝う「七五三」の時期が近づいて参りました。



石手寺では、お子さまの健やかな成長と幸せを祈願する特別なお参りの受け入れを行っております。

一般的には、十一月十五日が七五三のお参りの日とされています。しかし、混雑を避け、安心してご参拝いただけるよう、前後一、二ヶ月の間でもお参りする方が増えております。

当寺の本尊である薬師如来は、心身の健康を守る仏さまとして知られています。また、子供の守護神である鬼子母神もこちらに鎮座しており、多くの親御さんから子供たちの健康や成長を祈願するための場所として、特に信頼されています。

お子さまの年齢は、「数え年」と「満年齢」のどちらかで数えても構いません。好きな方法で、お子さまの大切な節目をお祝いください。

御祈禱は、随時受け付けております。お気軽にお問い合わせてください。

七五三は、お子さまの成長を祝う大切な節目です。この特別な日を、石手寺で一緒に祝いしませんか。お待ちしております。

### ○福德灌頂



先代住職が智慧の水を授けています  
石手幼稚園日記より引用

十月二十一日〜十一月十日（午前十時〜十一時）本堂にて  
石手寺の特別な儀式「福德灌頂（ふくとくかんじょう）」が今年も開催します。

福德灌頂は、石手寺の本尊、薬師如来さまと参拝者との間に特別なご縁を結ぶ儀式です。智慧（ちえ）の水を頂きながら、真言を唱え、自らの心を清らかにし、より優しさに満ちた心を育んでいくというのが主旨です。さらに、参加者の心の中にある仏様の心を開花させるお手伝いを行います。

参加費は五百円となっておりますが、その際には記念の数珠を授与いたします。

この数珠は、福德灌頂の儀式に参加したことを思い出として、毎日の生活の中で身に着けることができる特別な品となります。

日常の喧騒を忘れ、心の浄化と繋がりを深めるこの機会をぜひご利用ください。

### ○頼もう祭り



息子とたのも船

十月上旬から十一月二十日まで、境内中央に安置された「たのも船」に願いを書いた旗を供える祭りです。そして、十一月二十日にはこれらの旗がお焚き上げされます。

「たのも船」とは、参拝者の願いを運ぶ特別な船。しかし、普通の海を渡る船ではありません。雲の海を渡る船というイメージが背景にあり、船の表面には雲の絵が描かれています。

昔の時代、争いが絶えない日々が続いていました。その状態を憂えた神々が集まり、「頼もうの会」を開催。人々の命、財産、そして人権を守るための方法を考えました。その結果、人々は信頼する心の大切さを再認識し、徐々に争いはおさまり、平穏な日々を迎えることができました。この伝承に因んで、石手寺で頼もう祭が始まりました。

この祭りの独特の掛け声「たのもう たのもう たのもう 一願（いちがん） たのもう」

石手寺を訪れる際は、是非ともこの祭りの意味を感じ取りながら、自らの願いを船に託してみてください。



ポケモンマスターになりたいと書いています

### 行事予定

予定日	時間	行事	場所
9/20	10:00～	おはつか（金剛講）	本堂
9/27	10:00～	長井健司さん追悼・平和祈願法要	本堂
10月上旬～		たのも祭り	境内
10/13	6:30～	四国八十八ヶ所巡り	41番～49番
10/20～11/10	10:00～	福德灌頂	本堂
11/17	6:30～	四国八十八ヶ所巡り	50番～59番
11/20	10:00～	たのも船お焚き上げ・おはつか（金剛講）	本堂
12/3	10:00～	自死者追悼法要	講堂
12/8	10:00～	成道会法要	三重塔前
12/13	9:00～	すす払い	各お堂
12/15	6:30～	四国八十八ヶ所巡り	60番～66番
12/20	10:00～	おはつか（金剛講）	本堂

※御祈禱（七五三・初参り・安産着帯・特別護摩など）は随時受け付中  
 ※四国八十八ヶ所巡りバスツアーも随時受け付中。初めての方・一回だけの参加でもOK！

